

平成28年度 地域づくりコーディネーター事業採択団体一覧表

番号	団体名	事業名称	事業目的(一部抜粋)	年度末における期待成果(一部抜粋)	主な対象者	事業内容(一部抜粋)
1	特定非営利活動法人 絆JAPAN	人の繋がりを育むまちづくり事業	高齢者の閉じこもりや、個別化している子育て世代の課題を抽出し、大きな要因の改善を図る。 孤立予防・孤立対応を推進するため、小地域における交流会・サロン活動を実施する。 住みやすい地域、子どもから高齢者までが地域の中で支え合う社会「世代間協働」を目指す。	1 地域の安全、安心、災害時の共助、弱者への配慮等、広域的な視野で地域の活性化に繋がる 2 子ども達が夢を描ける地域へとなる 3 子ども、大人、高齢者同士が支え合うことの必要性や地域に対しての定着、生きる活力を促す	渡波地区(栄田1区、2区、東黄金浜、南黄金浜、浜松町、新沼)	1 地域サロン活動:既存の住民と新規住民の交流する場を提供する 2 やりましょう。秋祭り!:地元企業の敷地を借り、地元住民が主体となり開催する祭りを通し、世代間地区間の交流を図り、支え合いの意識を醸成する 3 若者交流会:地域の独身男性を主とし、同地域または他市町村から女性を迎え、地元企業との連携を計りながら、一次産業や渡波地域の活性化を図る 4 世代間交流事業の協力:専門職種と顔の見える関係ができ、関係機関とのネットワークを構築することで、地域課題に対して早期発見、早期対応が行える 5 復興公営住宅団地会立ち上げサポート 6 団地内座談会・勉強会:団地内で抱える課題などを挙げ、一緒に解決に向けて勉強会の実施や他の支援団体の強みを生かした座談会を実施する
2	一般社団法人 石巻いちれん	新蛇田復興公営住宅地域におけるコミュニティ形成コーディネート事業	1 住みよい復興公営住宅、安心・安全な新蛇田地区を目指して、住環境を巡る諸課題解決へ向けた勉強会・サロン活動の実施・推進 2 住環境を巡る課題を核とした当該既存地域住民と復興公営住宅新規住民の交流推進	住みよい環境づくり、安心・安全なまちづくりに向けた地域住民の主体意識の向上	新蛇田地区復興公営住宅及び周辺の行政区住民	1 復興公営住宅入居者ならびに近隣住民を対象とした勉強会の企画・実施 入居者から提起される問題の中から住民自身の自助・共助により解決が図られそうなものを中心に住民向け勉強会を企画・実施し、住民の自律的解決力の向上を図る。 2 住民同士の交流起点としての集会所利用促進サポート活動 ○ご当地版ラジオ体操をツールとした朝の健康体操サークルの実施・推進 ○地域住民を主体としたサークル活動支援の実施
3	特定非営利活動法人 雄勝まちづくり協会	民営公民館の運営と雄勝地域コミュニティ活性化事業	当団体が管理運営する民営公民館「オーリングハウス」を拠点に、文化活動やサークル活動など生涯学習を開催する。その活動を通して、地域活動を活性化することで、地域コミュニティ形成と思いやりのある地域の創造と自主性を生み出し、住民間で協力し合う豊かな暮らしづくりに繋げることを目的とする。	・年代を問わず、地域での役割を生み出すことで、それぞれの生きがいを生み出す ・世代間交流の場を生み出せる ・地域の歴史を学ぶことで、地域への愛着と継承者を育み、積極的なまちづくりへの参加者の増加に繋ぐ ・独居高齢者や孤立住民の引きこもりを地域住民で防ぐ体制に繋ぐ ・町外仮設暮らしの住民が戻れる場所として施設が機能する ・地域住民の協力体制を築くことで、治安の向上を図る ・多様な文化に触れることで、他地域間交流と理解が深まる	雄勝地域住民	1 地域住民によるサークル活動の補助業務 地域住民(子どもからお年寄りまで)が自主的に作るサークル活動をサポートする。 2 学習活動/地域の歴史勉強会/カルチャースクール 歴史、人権、社会など様々な観点から講座やワークショップを開催する。社会の課題や時事を皆で共有し、考える場を作る。考え方の違いに価値を見出し、他者理解と思いやりのある地域づくりを目指す。 3 作品展示企画 地域住民が制作した作品を始め様々なジャンルの芸術展を開催する。地域で芸術活動をする者のやりがいと意欲につなげ、同時に鑑賞者の癒しの場を作る。 4 上映会/イベント開催 ドキュメンタリーを主とした映画上映や様々なイベントを行う。娯楽を通し、共に笑い感動できるスペースを作ることで、新たなコミュニティや人間関係を生み出す。 5 雄勝公民館との共同事業及び地域補助活動 6 コミュニティカフェ事業
4	NPO法人 ばんぶきんふれあい会	湊地区復興住宅入居者と周辺地域住民による住民主体型コミュニティ形成コーディネート事業	1 「湊地区復興住宅」入居者(予定者含む)および同住宅周辺地域の住民を対象とした新たな地域コミュニティ形成活動の担い手の掘り起こしと育成、組織化を図る 2 当該担い手が主導して「湊地区復興住宅」入居者と周辺地域住民との交流イベントを実施し、住民間の「顔の見える関係」の構築を進める 3 多様な世代の担い手人材の掘り起こしと多世代間交流(若者と高齢者など)および現役世代間の交流(子育て世代など)の拡充を進める	1 復興住宅入居者(予定者含む)や周辺地域住民の中からコミュニティ形成活動の担い手を掘り起こし、育成を行う 2 担い手の組織化を図り、コミュニティ形成活動の企画立案と試行を行う 3 復興住宅入居者と周辺地域住民間の顔の見える関係の構築を促進する	ボランティア活動者、湊地区復興住宅入居者(予定者含む)、湊地区住民、近隣住民	1 平成27年度石巻市地域づくりコーディネーター事業で育成された活動者を中心となり、復興住宅入居者と周辺地域住民との交流事業を企画・運営する 2 地域住民主体の互助活動に向けた意識啓発交流会・セミナーの実施 3 今後の互助活動をリードする人材を育成するため、実践的な講義を行う 4 3の講座受講者による交流事業の実践 5 地域住民による交流促進のための各種イベント等の事業
5	一般社団法人 BIG UP 石巻	釜・大街道地区における包括的な地域づくりモデル事業	住民が主体となって、町内会をはじめ、PTA、学校、民生委員、行政、専門家、NPO等様々な関係者と連携しながら地域づくりを実践する体制を構築することを目的とする。 「より幸せに暮らせる地域を住民自身で作ることができる地域自治力を醸成する」ことを掲げ、住民が中心となって地域づくり活動が継続することを目的とする。 この地区での取組が同様の課題を抱えるほかの地域の先進事例となり、一つのモデルとなることを目指す。	1 住民の集まる場が機能していること 2 地域の情報がひろく周知されていること 3 地域づくりのための話し合いが機能し、具体的な取り組みが幅広い関係者と連携して実施されていること	下釜第二町内会、下釜第三町内会、下大街道第一町内会、下大街道第二町内会、上大街道第二町内会、三軒屋町内会、三軒屋東町内会、本草園隣和会、および当該地域内の復興公営住宅及び仮設住宅入居者	1 住民および関係者の連携強化・自立的な地域づくり活動支援 ・地域づくりのための対話の場の企画運営 ・釜・大街道支援連絡会の主催 ・コミュニティスペースの運営や行事を通じた集まる機会の創出 ・地区内情報誌「ゆくゆく輪」の発行 ・住民参加型の子ども見守り活動として子ども食堂を新設 ・町内会や地域活動と企業のCSR活動とのマッチング 2 防災活動支援 ・自主防災組織の活性化または立ち上げの支援 3 子ども支援 ・子どもの居場所、遊び場づくり、子ども食堂の運営開始、小学校での出前授業 4 地域の景観改善支援 ・植栽活動
6	上釜を愛する会	地域の力を活かした住民主体の地域づくりサポート事業	石巻市釜地区において、もともと地域が持っている資源を発掘し、地域の力を活かした地域づくりのサポートを行い、地域づくりを実践する仲間を増やす。様々な関係者と連携しながら、それぞれが自分事として自らの住む地域に向き合い、地域を知り、住民どうしが繋がりに支え合える地域社会をつくる。	1 新たに知り合い同士となる住民が増えること 2 住民自身が地域についての理解を深めること 3 子どもを見守ることのできる大人が増えること 4 地域のことを自分ごととして考え、行動できる多様な担い手が存在すること	上釜町内会住民 下釜第一町内会住民 新館3丁目復興住宅入居者	1 住民組織等の運営サポート ①町内会やスポーツクラブ等の運営サポート ②住民が集まる機会の創出 2 上釜地区における郷土本作成支援 ①住民からの震災体験や昔の上釜地区の様子についての聞き書き ②郷土史家の専門家を招聘した勉強会の開催 ③編集作業 3 子どもを軸としたコミュニティづくり ①平成28年度より新規に実施されることになる放課後子ども教室について、より多くの地域住民が参画できるためのサポート ②にじいろクレヨンと連携した子どもと大人(特に高齢者)が交流しともに学び合える機会の創出 4 復興公営住宅入居者と地域住民との融和を図る事業 ①新館3丁目復興住宅入居者への地域情報の提供 ②新館3丁目復興住宅入居者と地域住民との交流会の開催 5 釜・大街道の地域情報誌「ゆくゆく輪」の発行ならびに配布活動
7	NPO法人 DoTankみやぎ	渡波・万石浦地区周辺コミュニティ・サポート事業	当該既存地域住民と仮設住宅住民、復興公営住宅新規住民の交流を図るため、住民同士の顔合わせの機会や交流の場づくりを行う。 心のケアによって、住民一人一人に心のゆとりを持ってもらい、さらに聴く力(傾聴スキル)による互助の信頼関係を構築してもらう。 結果的に住民主体による住民同士の繋がりを、コミュニティモデルづくりを目的とする。	住民同士の信頼関係の構築により、住民主体によるコミュニティ形成活動の担い手が育成され、新旧住民の交流の場をつくることで、顔が見える関係性を生み出す。 そうすることで、地域の事を自分の事として考え、行動できる多様な担い手が生まれる。 特に、高齢者の社会的孤立、自殺防止に期待できる。	仮設渡波第1・第2団地、仮設万石浦団地、万石浦ささえあい拠点センター、沖六勺東・西復興住宅等	1 地域住民への心のケア活動 集団心理療法・個別心理療法の実施により震災トラウマからの回復、心のゆとりをもってもらう。 2 聴く力を身に付けてもらう(傾聴スキル学習) 町内会や自治会の方々、住民の方々に対し、傾聴スキル講習を実施する。住民同士でロールプレイを行い、信頼関係、癒し効果を体験してもらうことで自然発生的にコミュニティづくりが行える。 3 交流イベントの実施 上記のスキルを身に付けている講習を開きながら、交流イベントを実施する。交流の場で傾聴スキルを活かしてもらいながら、コミュニティ形成に向けた人の繋がりを構築していく。
8	石巻復興きずな新聞舎	「石巻復興きずな新聞」の発行・配布による見守り活動と共助の担い手づくり事業	仮設住宅、および復興公営住宅向け情報誌「石巻復興きずな新聞」の発行・配布活動を通じたコミュニティの維持・運営・構築を、仮設住宅・復興公営住宅内外の地域住民でささえたい仕組みと土壌づくり	1 仮設住宅および復興公営住宅の住民の疲労と不安の軽減 2 地域全体でのコミュニティ参画	石巻市仮設住宅全133団地の約4,000世帯、みなし仮設住宅約50世帯、および市街地の復興住宅38団地の約1,800世帯の方々。 また、そこに関わっていく石巻市民及び外部の方々。	1 「石巻復興きずな新聞」発行を通じた情報発信による住民の自立促進 具体的なアクションに結びつくような情報発信を心がける。住民の自立や社会参画を促すような紙面づくりに取り組む。 2 「石巻復興きずな新聞」配布を通じた訪問・傾聴・見守り活動による住民の心のケア、つながり作り 3 地元ボランティアの育成による地域支え合いの仕組み作り、生きがい作り 4 県外ボランティアの受け入れによる震災の風化防止 石巻への来訪者(=交流人口)を増やすこと、全国に「石巻ファン」「石巻応援団」を作ること、それによって震災の風化を防ぐこと。
9	ヒガシノ団地	中里住吉地区における復興公営住宅入居者とその周辺地域を対象としたコミュニティ形成支援	復興公営住宅内部のコミュニティ形成とその周辺地域とのコミュニティ形成	復興公営住宅内外の交流が盛んに行われ、地域活動への参画がおこる一体感の創出	中里住吉地区の復興公営住宅入居者 中里住吉地区の復興公営住宅が建設されている地域の地縁組織(町内会など)	中里住吉地区の復興公営住宅での団地会と復興公営住宅内部のコミュニティ形成における、役員会への参加とアドバイスやファシリテート、コミュニティ形成を促すための交流会やイベントの実施サポートを行い、復興公営住宅内部のコミュニティ形成を促進させ、問題解決に努める。 また、受け入れ側の復興公営住宅周辺地域との調整や周辺地域側の課題や不安をヒアリングする。既存地域の会議などにも参加し、復興公営住宅入居者との関係性の構築とコミュニティ形成に向けて活動を行い、地域活動への復興公営住宅入居者の参画を促す。